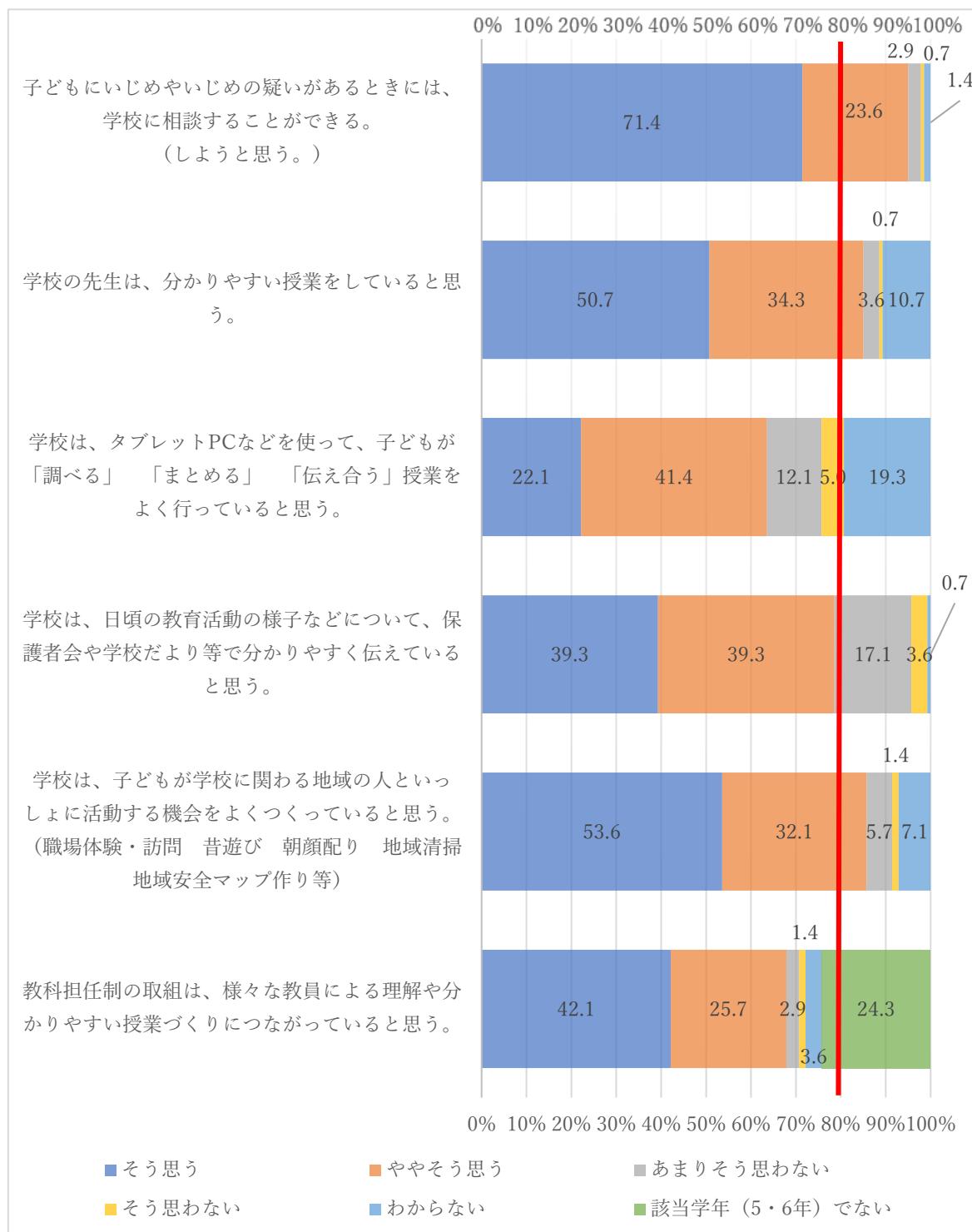
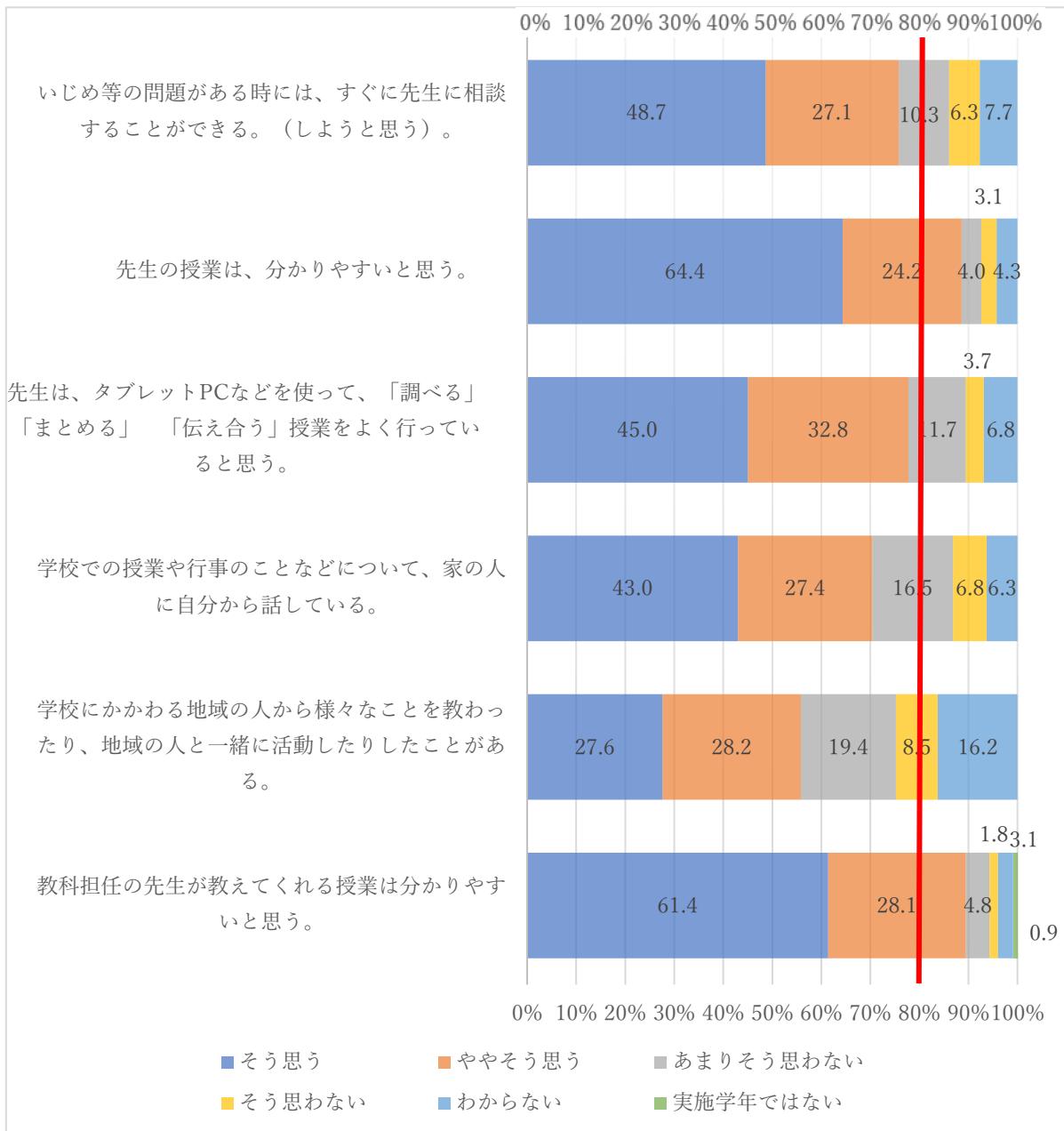


令和7年度 学校評価アンケート（前期） 保護者



- ・「学校に相談することができる。」の項目では肯定的評価が95.0%だった。引き続き、相談しやすい雰囲気維持していく。
- ・「先生の授業は分かりやすい。」の肯定的評価は85.0%だった。教科担任制を含め、引き続き、児童に分かりやすい授業を目指し、指導方法の工夫、改善を図っていく。
- ・「タブレットPCを使って『調べる』『まとめる』『伝え合う』授業をよく行っている。」の項目では、肯定的評価が63.5%にとどまった。また、「わからない。」という回答が19.3%もあることから、タブレットPCを使った実践に加えて、学校での活動をお知らせする必要があることが分かった。しかし、タブレットPCの活用については児童の発達段階を考慮する必要があるため、児童に無理のないよう留意して進めていく。

令和7年度 学校評価アンケート（前期）児童



- 「先生の授業／教科担任の授業は分かりやすい。」の項目では、どちらも肯定的評価が90%弱だった。引き続き、児童に分かりやすい授業を目指し、指導方法の工夫、改善を図っていく。
- 肯定的評価が一番低かったのは、地域との交流についての項目で、55.8%、また「分からぬ。」という回答が16.2%だった。1年生のアサガオ配りや2年生の図書館見学、3年生のスーパー見学、4年生の逃げ地図作り、5年生の先輩・地域に学ぶI、6年生の商店会についての学習など、各学年で地域との交流学習は設定されているが、実施時期がアンケート後のことや、「地域との交流」について児童への説明が不足していたと考えられる。